

## 平成27年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について

平成28年8月3日  
千葉県環境生活部大気保全課  
(電話：043-223-3855)  
千葉県環境生活部水質保全課  
(電話：043-223-3818)

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき実施した平成27年度ダイオキシン類の常時監視結果がまとまりましたのでお知らせします。

- 1 一般大気環境については、69地点で測定を行い、全地点で環境基準を達成しました。
- 2 公共用水域の水質については、74地点で測定を行い、1地点で環境基準値を超過し、また、底質については、42地点で測定を行い、全地点で環境基準を達成しました。
- 3 地下水については、20地点で測定を行い、全地点で環境基準を達成しました。
- 4 土壌については、37地点で測定を行い、全地点で環境基準を達成しました。

### 1 一般大気環境（詳細は3頁以降）

69地点について測定した結果、いずれの地点も環境基準を達成しました。

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

測定地点数	年間平均値最小	年間平均値最大	全地点平均値	環 境 基 準
69	0.0071	0.11	0.032	0.6 以下

測定を開始した平成12年度の全地点平均値は0.22pg-TEQ/m<sup>3</sup>でしたが、その後減少傾向にあり、平成27年度は0.032pg-TEQ/m<sup>3</sup>でした。

なお、平成18年度以降、全地点で環境基準を達成しています。

### 2 公共用水域（詳細は6頁以降）

#### (1) 水質

74地点について測定した結果、清水川の清水橋（香取市）で1.1pg-TEQ/Lと環境基準値を超過しました。なお、その後の状況を確認するため、補足調査を実施したところ、環境基準値を下回っていました。

単位：pg-TEQ/L

測定地点数	年間平均値最小	年間平均値最大	全地点平均値	環 境 基 準
74	0.017	1.1	0.27	1 以下

## (2) 底質

42地点について測定した結果、いずれの地点も環境基準を達成しました。

単位：pg-TEQ/g

測定地点数	最 小	最 大	全地点平均値	環 境 基 準
42	0.075	82	7.6	150 以下

## 3 地下水（詳細は13頁以降）

20地点について測定した結果、いずれの地点も環境基準を達成しました。

単位：pg-TEQ/L

測定地点数	最 小	最 大	全地点平均値	環 境 基 準
20	0.0086	0.067	0.037	1 以下

平成12年度以降、環境基準値を超過した地点はなく、環境基準と比べても低い数値で推移しています。

## 4 土壌（詳細は16頁以降）

37地点について測定した結果、いずれの地点も環境基準を達成しました。

単位：pg-TEQ/g

測定地点数	最 小	最 大	全地点平均値	環 境 基 準
37	0.11	26	4.4	1000 以下

平成12年度以降、環境基準値を超過した地点はなく、環境基準と比べても低い数値で推移しています。

（内容についての照会先）

- 一般大気環境測定結果〔1〕……………大気保全課 電話 043-223-3855
- 公共用水域・地下水・土壌環境測定結果〔2・3・4〕……………水質保全課 電話 043-223-3818

# 1 平成27年度ダイオキシン類に係る一般大気環境測定結果について

## (1) 測定方法

### ア. 測定地点及び測定実施機関

県内69地点において、県及び21市（千葉市、船橋市、柏市、松戸市、市川市、浦安市、八千代市、習志野市、四街道市、佐倉市、市原市、袖ヶ浦市、木更津市、白井市、印西市、成田市、富里市、香取市、旭市、匝瑳市、鴨川市）がそれぞれ実施しました（図1）。

### イ. 測定期間

7日間連続で四季（4回）、又は夏冬（2回）に、以下の期間で試料を採取しました。

春季 平成27年 5月25日～ 6月 1日

夏季 平成27年 7月 9日～ 7月16日

秋季 平成27年10月 9日～10月16日

冬季 平成28年 1月 6日～ 1月13日

### ウ. 測定分析方法

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」（環境省 平成20年3月改訂）に基づき実施しました。

## (2) 測定結果

69地点における測定結果は0.0071pg-TEQ/m<sup>3</sup>（鴨川市清澄）～0.11pg-TEQ/m<sup>3</sup>（佐倉市江原新田）の範囲にあり、全地点において環境基準（0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>）を達成しました（表1）。

なお、全地点の平均値は0.032pg-TEQ/m<sup>3</sup>であり、平成12年度の測定開始以降、減少傾向にあり、近年は横ばいで推移しています。

### 年度別全地点平均値の経年変化

pg-TEQ/m<sup>3</sup>

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
全地点 平均値	0.22	0.23	0.15	0.11	0.099	0.073	0.071	0.064	0.056	0.045

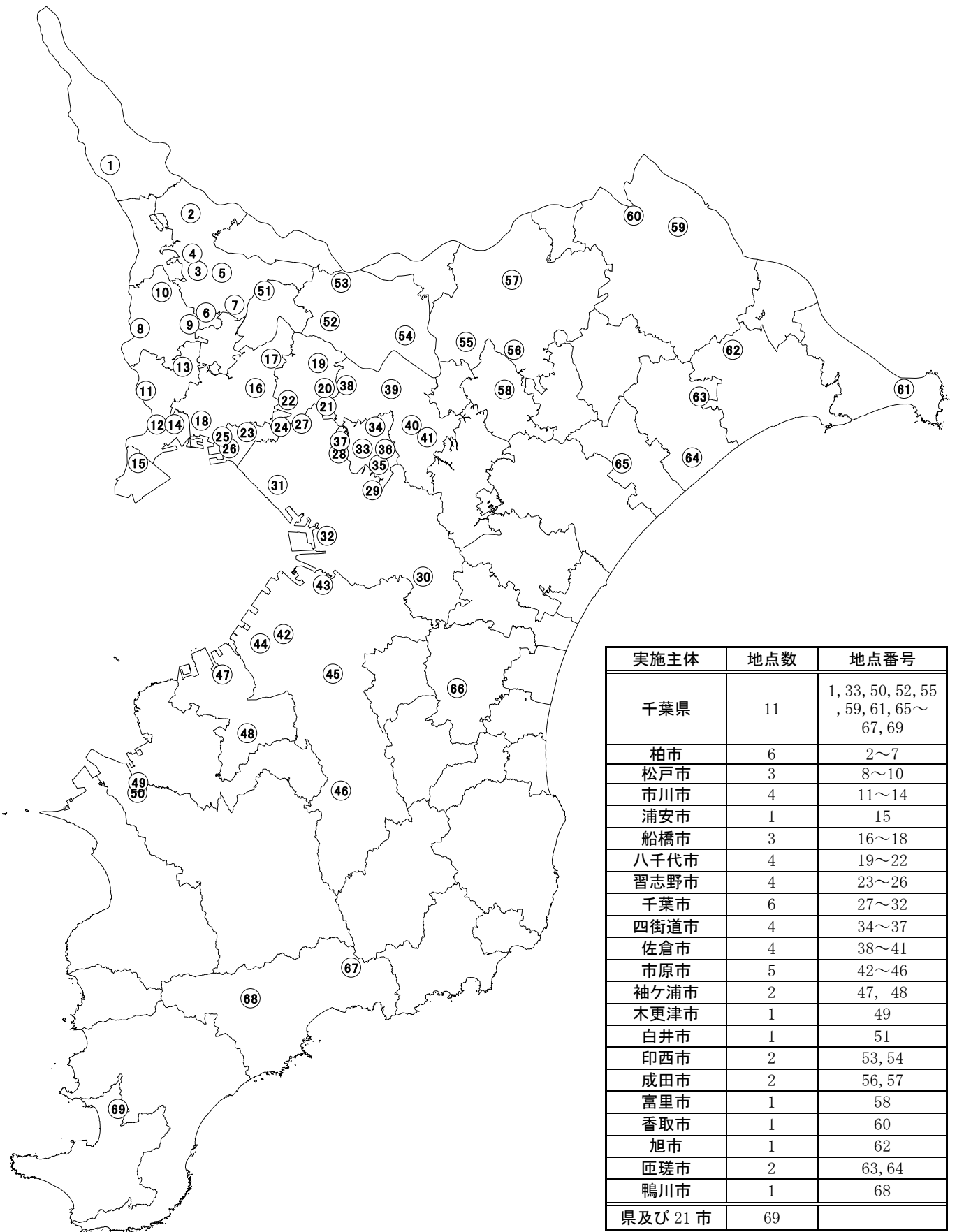
年度	22	23	24	25	26	27
全地点 平均値	0.041	0.043	0.041	0.041	0.025	0.032

表 1 平成27年度ダイオキシン類に係る一般大気環境測定結果

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>（環境基準：0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>）

地点No.	測定地点	測定結果	測定時期・回数	測定機関	地点No.	測定地点	測定結果	測定時期・回数	測定機関
1	野田市野田	0.036	夏冬2回	千葉県	38	佐倉市井野	0.040	夏冬2回	佐倉市
2	柏市大室	0.024	四季4回	柏市	39	佐倉市江原新田	0.11	夏冬2回	
3	柏市永楽台	0.025	四季4回		40	佐倉市城	0.036	夏冬2回	
4	柏市旭町	0.023	四季4回		41	佐倉市直弥	0.045	夏冬2回	
5	柏市大津ケ丘	0.031	四季4回		42	市原市廿五里	0.022	夏冬2回	市原市
6	柏市しいの木台	0.027	四季4回		43	市原市八幡	0.022	夏冬2回	
7	柏市藤ヶ谷	0.037	四季4回		44	市原市姉崎	0.019	夏冬2回	
8	松戸市根本	0.041	夏冬2回	松戸市	45	市原市松崎	0.024	夏冬2回	
9	松戸市五香西	0.031	夏冬2回		46	市原市平野	0.016	夏冬2回	
10	松戸市二ツ木	0.030	夏冬2回		47	袖ヶ浦市長浦駅前	0.029	四季4回	袖ヶ浦市
11	市川市新田	0.027	四季4回	市川市	48	袖ヶ浦市横田	0.027	四季4回	
12	市川市富浜	0.025	四季4回		49	木更津市畑沢南	0.015	夏冬2回	木更津市
13	市川市大野町	0.033	四季4回		50	君津市久保	0.0098	夏冬2回	千葉県
14	市川市高谷	0.031	四季4回		51	白井市中	0.047	夏冬2回	白井市
15	浦安市猫実	0.027	四季4回	浦安市	52	印西市高花	0.037	夏冬2回	千葉県
16	船橋市高根台	0.037	四季4回	船橋市	53	印西市大森	0.030	夏冬2回	印西市
17	船橋市金堀町	0.022	四季4回		54	印西市瀬戸	0.026	夏冬2回	
18	船橋市南本町	0.051	四季4回		55	成田市加良部	0.022	夏冬2回	千葉県
19	八千代市米本	0.10	夏冬2回	八千代市	56	成田市大清水	0.023	夏冬2回	成田市
20	八千代市村上	0.050	夏冬2回		57	成田市幡谷	0.022	夏冬2回	
21	八千代市勝田台	0.032	夏冬2回		58	富里市七栄	0.035	夏冬2回	富里市
22	八千代市高津	0.025	夏冬2回		59	香取市大倉	0.053	夏冬2回	千葉県
23	習志野市鷺沼台	0.025	夏冬2回	習志野市	60	香取市佐原口	0.027	夏冬2回	香取市
24	習志野市東習志野	0.013	夏冬2回		61	銚子市清川町	0.028	夏冬2回	千葉県
25	習志野市谷津	0.025	夏冬2回		62	旭市南堀之内	0.029	夏冬2回	旭市
26	習志野市秋津	0.021	夏冬2回		63	匝瑳市椿	0.025	四季4回	匝瑳市
27	千葉市花見川区花見川	0.026	夏冬2回	千葉市	64	匝瑳市今泉	0.032	四季4回	
28	千葉市稲毛区山王町	0.037	夏冬2回		65	横芝光町横芝	0.022	夏冬2回	千葉県
29	千葉市若葉区千城台北	0.030	夏冬2回		66	茂原市高師	0.026	夏冬2回	千葉県
30	千葉市緑区平川町	0.065	夏冬2回		67	鴨川市清澄	0.0071	夏冬2回	千葉県
31	千葉市美浜区真砂	0.031	夏冬2回		68	鴨川市成川	0.014	四季4回	鴨川市
32	千葉市中央区今井	0.026	夏冬2回		69	館山市亀ヶ原	0.010	夏冬2回	千葉県
33	四街道市鹿渡	0.021	夏冬2回	千葉県	平 均		0.032		
34	四街道市千代田	0.035	夏冬2回	四街道市	※ 地点No. 62の旭市南堀之内は、平成25年度及び26年度測定結果における旭市堀之内と同じ地点ですが、測定地点名を訂正しました。				
35	四街道市和田	0.051	夏冬2回						
36	四街道市みそら	0.029	夏冬2回						
37	四街道市鹿放ヶ丘	0.081	夏冬2回						

図1 平成27年度ダイオキシン類一般大気環境測定地点図



実施主体	地点数	地点番号
千葉県	11	1, 33, 50, 52, 55, 59, 61, 65~67, 69
柏市	6	2~7
松戸市	3	8~10
市川市	4	11~14
浦安市	1	15
船橋市	3	16~18
八千代市	4	19~22
習志野市	4	23~26
千葉市	6	27~32
四街道市	4	34~37
佐倉市	4	38~41
市原市	5	42~46
袖ヶ浦市	2	47, 48
木更津市	1	49
白井市	1	51
印西市	2	53, 54
成田市	2	56, 57
富里市	1	58
香取市	1	60
旭市	1	62
匝瑳市	2	63, 64
鴨川市	1	68
県及び21市	69	

## 2 平成27年度ダイオキシン類に係る公共用水域（水質・底質） 測定結果について

### (1) 測定方法

#### ア. 測定地点及び測定実施機関

##### (ア) 公共用水域(水質)

県内74地点において、国土交通省、県及び11市（千葉市、船橋市、柏市、市川市、木更津市、松戸市、成田市、佐倉市、旭市、市原市、袖ヶ浦市）がそれぞれ実施しました。

（44河川：55地点、4湖沼：8地点、3海域：11地点）

##### (イ) 公共用水域(底質)

県内42地点において、国土交通省、県及び9市（千葉市、船橋市、柏市、市川市、松戸市、成田市、佐倉市、市原市、袖ヶ浦市）がそれぞれ実施しました。

（31河川：35地点、3湖沼：3地点、2海域：4地点）

#### イ. 測定期間

水質：平成27年4月7日～平成28年2月3日（年1回～2回）

底質：平成27年4月7日～平成27年12月22日（年1回）

#### ウ. 測定分析方法

水質：「工業用水・工業排水中のダイオキシン類の測定方法」（日本工業規格 K 0312）により実施しました。

底質：「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」（環境省 平成21年3月改定）に基づき実施しました。

### (2) 測定結果

#### ア. 水質

74地点における測定結果は0.017～1.1pg-TEQ/Lの範囲にあり、清水川の清水橋（香取市）で1.1pg-TEQ/Lと環境基準値（1pg-TEQ/L）を超過しました（表2-1）。

環境基準値を超過した地点について補足調査したところ、環境基準値を下回っており、継続して超過していないことを確認しました（表2-2）。

なお、全地点の平均値は0.27pg-TEQ/Lであり、24年度0.34pg-TEQ/L、25年度0.31pg-TEQ/L、26年度0.30pg-TEQ/Lと同水準の数値でした。

#### イ. 底質

42地点における測定結果は0.075～82pg-TEQ/gの範囲にあり、全ての地点において環境基準（150pg-TEQ/g）を達成しました（表2-1）。

なお、全地点の平均値は7.6pg-TEQ/gであり、24年度9.8pg-TEQ/g、25年度9.1pg-TEQ/g、26年度6.2pg-TEQ/gと同水準の数値でした。

表2-1 平成27年度ダイオキシン類に係る公共用水域（水質・底質）測定結果

(1) 河川

水質 単位：pg-TEQ/L（環境基準：1pg-TEQ/L）

底質 単位：pg-TEQ/g（環境基準：150pg-TEQ/g）

区分	河川名	番号	測定地点		水質			底質		
					測定回数		測定機関	測定回数		測定機関
江戸川	江戸川	7	江戸川水門	市川市	1	0.14	国土交通省	1	10	国土交通省
江戸川 流入河川	坂川	1 2	弁天橋	松戸市	1	0.12	松戸市	1	6.5	松戸市
		1 3	赤塚樋門	松戸市	1	0.052	千葉県	—	—	—
	新坂川	1 4	さかね橋	松戸市	1	0.24	松戸市	1	0.59	松戸市
	国分川	1 7	須和田橋	市川市	1	0.12	市川市	1	0.16	市川市
利根川	利根川	2 7	水郷大橋（佐原）	香取市	1	0.14	国土交通省	1	5.2	国土交通省
		2 9	銚子大橋	銚子市	1	0.099	国土交通省	1	0.89	国土交通省
手賀沼 流入河川	金山落	3 1	名内橋	白井市	2	0.29	千葉県	—	—	—
	染井入落	3 2	染井新橋	柏市	2	0.47	柏市	1	1.7	柏市
	大津川	3 3	上沼橋	柏市	2	0.25	柏市	1	1.7	柏市
	大堀川	3 4	北柏橋	柏市	2	0.11	柏市	1	2.2	柏市
印旛沼 流入河川	鹿島川	3 5	岩富橋	佐倉市	1	0.23	佐倉市	1	0.76	佐倉市
		3 6	鹿島橋	佐倉市	1	0.32	佐倉市	1	0.87	佐倉市
	高崎川	3 7	竜灯橋	佐倉市	1	0.083	佐倉市	1	0.79	佐倉市
	手繰川	3 8	無名橋	佐倉市	1	0.088	佐倉市	1	1.4	佐倉市
	師戸川	3 9	師戸橋	印西市	2	0.26	千葉県	1	15	千葉県
	神崎川	4 0	神崎橋	八千代市	2	0.22	千葉県	—	—	—
利根川 流入河川	長門川	4 3	長門橋	栄町	2	0.39	千葉県	—	—	—
	根木名川	4 6	新川水門	成田市	2	0.22	成田市	1	19	成田市
	派川根木名川	4 7	根木名川橋	成田市	2	0.99	千葉県	—	—	—
	大須賀川	4 8	関橋	香取市	2	0.44	千葉県	—	—	—
		4 9	黄金橋	香取市	2	0.12	千葉県	—	—	—
	与田浦川	5 1	与田浦橋	香取市	2	0.39	千葉県	1	2.8	千葉県
	黒部川	5 3	迎田橋	香取市	2	0.65	千葉県	—	—	—
		5 4	中央大橋	香取市	2	0.79	千葉県	—	—	—
	清水川	5 6	山川橋	香取市	2	0.58	千葉県	—	—	—
		5 7	※清水橋	香取市	2	1.1	千葉県	—	—	—
忍川	5 8	富川地先	銚子市	2	0.60	千葉県	—	—	—	
高田川	5 9	白石取水場	銚子市	2	0.53	千葉県	1	1.9	千葉県	
九十九里 海域 流入河川	新川	6 1	干潟大橋	旭市	2(1)	0.40	旭市・千葉県	—	—	—
	栗山川	6 3	新井橋	多古町	2	0.52	千葉県	—	—	—
		6 5	木戸大橋	横芝光町	2	0.53	千葉県	1	0.24	千葉県
	高谷川	6 6	与平橋	横芝光町	2	0.84	千葉県	1	5.2	千葉県
	作田川	6 9	龍宮大橋	九十九里町	2	0.30	千葉県	—	—	—
	真亀川	7 1	真亀橋	九十九里町	2	0.13	千葉県	1	11	千葉県
	南白亀川	7 2	観音堂橋	白子町	2	0.68	千葉県	—	—	—
一宮川	7 3	昭和橋	茂原市	2	0.26	千葉県	—	—	—	

※：環境基準超過地点 ( ) は県実施分で内数

(1) 河川 つづき

水質 単位：pg-TEQ/L (環境基準：1pg-TEQ/L)

底質 単位：pg-TEQ/g (環境基準：150pg-TEQ/g)

区分	河川名	番号	測定地点		水質			底質		
					測定回数		測定機関	測定回数		測定機関
南房総 海域 流入河川	二夕間川	80	坂本	鴨川市	1	0.027	千葉県	1	11	千葉県
	加茂川	84	加茂川橋	鴨川市	1	0.28	千葉県	1	8.5	千葉県
	瀬戸川	88	瀬戸川橋	南房総市	1	0.27	千葉県	1	0.93	千葉県
東京湾 内房 流入河川	平久里川	94	平成橋	館山市	2	0.24	千葉県	1	43	千葉県
	湊川	98	湊橋	富津市	1	0.13	千葉県	1	3.7	千葉県
	染川	100	染川橋	富津市	1	0.094	千葉県	—	—	—
東京湾 内湾 流入河川	矢那川	106	富士見橋	木更津市	2	0.20	千葉県	1	2.9	千葉県
	小櫃川	107	岩田橋	君津市	1	0.16	千葉県	—	—	—
		109	小櫃橋	袖ヶ浦市	2	0.19	袖ヶ浦市	1	0.22	袖ヶ浦市
		110	椿橋	木更津市	2	0.046	木更津市	—	—	—
	養老川	112	持田崎橋	市原市	1	0.024	市原市	1	0.080	市原市
		113	浅井橋	市原市	1	0.11	市原市	1	0.075	市原市
		114	養老大橋	市原市	1	0.18	市原市	1	0.24	市原市
	村田川	117	新村田橋	市原市	1	0.085	市原市	1	0.24	市原市
	都川	118	都橋	千葉市	1	0.052	千葉市	1	0.84	千葉市
	葭川	119	日本橋	千葉市	1	0.045	千葉市	1	0.70	千葉市
	印旛放水路 (下流)	120	新花見川橋	千葉市	1	0.060	千葉市	1	1.5	千葉市
海老川	121	八千代橋	船橋市	1	0.11	船橋市	1	0.48	船橋市	
河川平均値					0.29			4.6		

(2) 湖沼

水質 単位：pg-TEQ/L (環境基準：1pg-TEQ/L)

底質 単位：pg-TEQ/g (環境基準：150pg-TEQ/g)

区分	湖沼名	番号	測定地点		水質			底質		
					測定回数		測定機関	測定回数		測定機関
印旛沼	印旛沼	1	阿宗橋	印西市	2	0.19	千葉県	—	—	—
		2	上水道取水口下	佐倉市	2	0.61	千葉県	—	—	—
		3	一本松下	印西市	2	0.41	千葉県	—	—	—
		4	北印旛沼中央	成田市	2	0.43	千葉県	—	—	—
手賀沼	手賀沼	6	手賀沼中央	我孫子市	2	0.27	千葉県	—	—	—
		8	下手賀沼中央	柏市	2	0.94	柏市	1	11	柏市
高滝ダム 貯水池	高滝ダム 貯水池	10	加茂橋下流部	市原市	1	0.099	市原市	1	4.2	市原市
亀山ダム 貯水池	亀山ダム 貯水池	13	堤体直上流部	君津市	1	0.024	千葉県	1	16	千葉県
湖沼平均値					0.37			10		



(3) 海域

水質 単位：pg-TEQ/L (環境基準：1pg-TEQ/L)

底質 単位：pg-TEQ/g (環境基準：150pg-TEQ/g)

区分	海域名	番号	測定地点		水質			底質		
					測定回数		測定機関	測定回数		測定機関
東京湾 内湾	千葉港(甲)	6	千葉3	千葉新港	1	0.078	千葉市	1	31	千葉市
	千葉港(乙)	8	東京湾9	五井沖	1	0.057	千葉県	1	82	千葉県
		E	東京湾E	千葉航路西	1	0.023	千葉県	1	2.1	千葉県
	東京湾(3)	12	船橋1	船橋港内	2	0.59	船橋市	1	9.6	船橋市
	東京湾(11)	17	東京湾4	市川・船橋沖	1	0.019	千葉県	—	—	—
	東京湾(12)	21	東京湾18	富津航路	1	0.022	千葉県	—	—	—
内房	東京湾(17)	25	東京湾19	富津岬下	1	0.021	千葉県	—	—	—
		27	東京湾21	保田沿岸	1	0.036	千葉県	—	—	—
		31	東京湾25	北条沿岸	1	0.15	千葉県	—	—	—
		33	東京湾28	富浦沖	1	0.018	千葉県	—	—	—
南房総	南房総	39	太平洋6	勝浦沿岸	1	0.017	千葉県	—	—	—
海域平均値					0.093			31		
全地点平均値					0.27			7.6		

表2-2 環境基準超過地点の測定結果概要

水質 単位：pg-TEQ/L (環境基準：1pg-TEQ/L)

番号	河川名	測定地点		1回目測定		2回目測定		測定結果 (年平均値)	補足調査	
57	清水川	清水橋	香取市	1.8	H27.6	0.47	H27.10	1.1	0.10	H27.12

図2-1 平成27年度ダイオキシン類公共用水域測定地点図（河川）

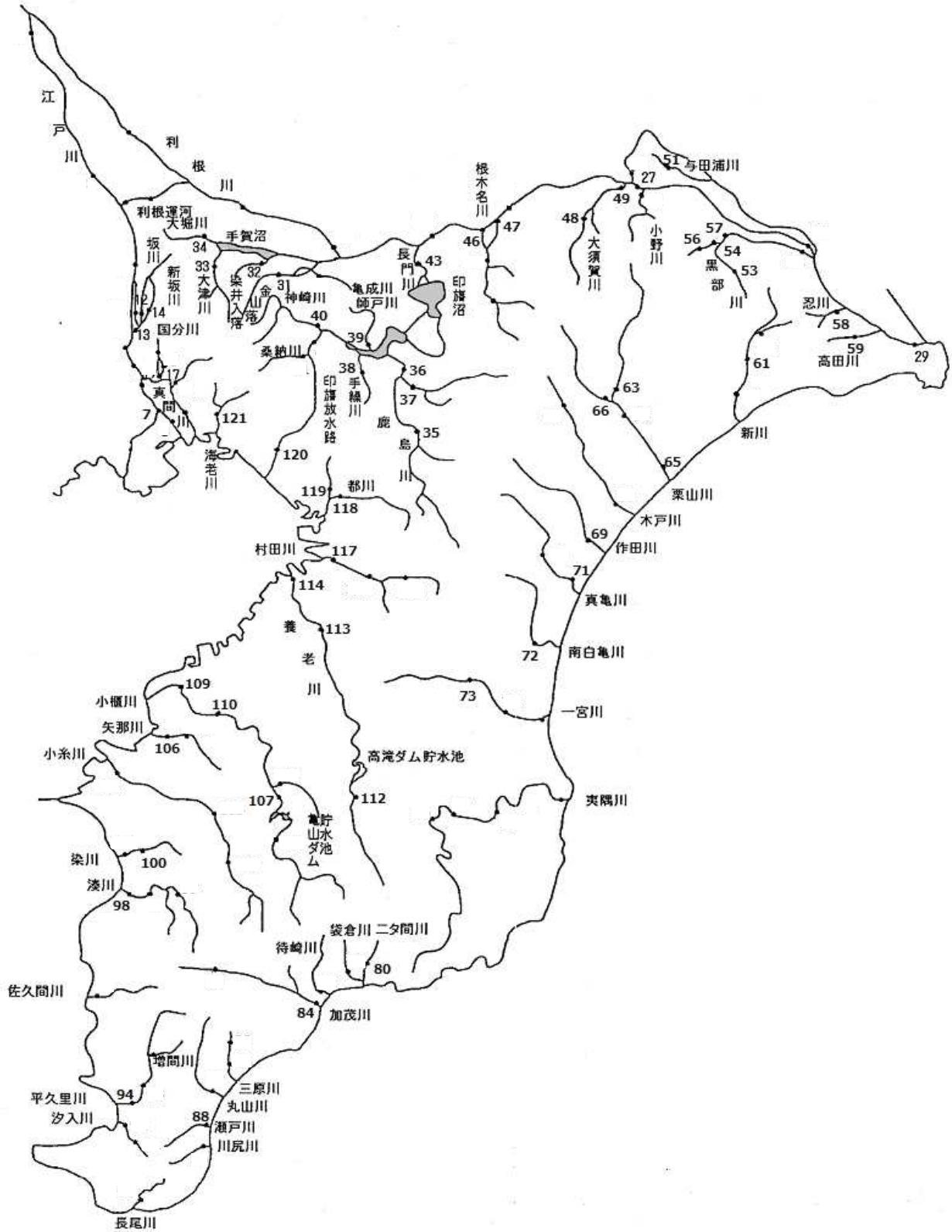


図 2-2 平成 27 年度ダイオキシン類公共用水域測定地点図 (湖沼)

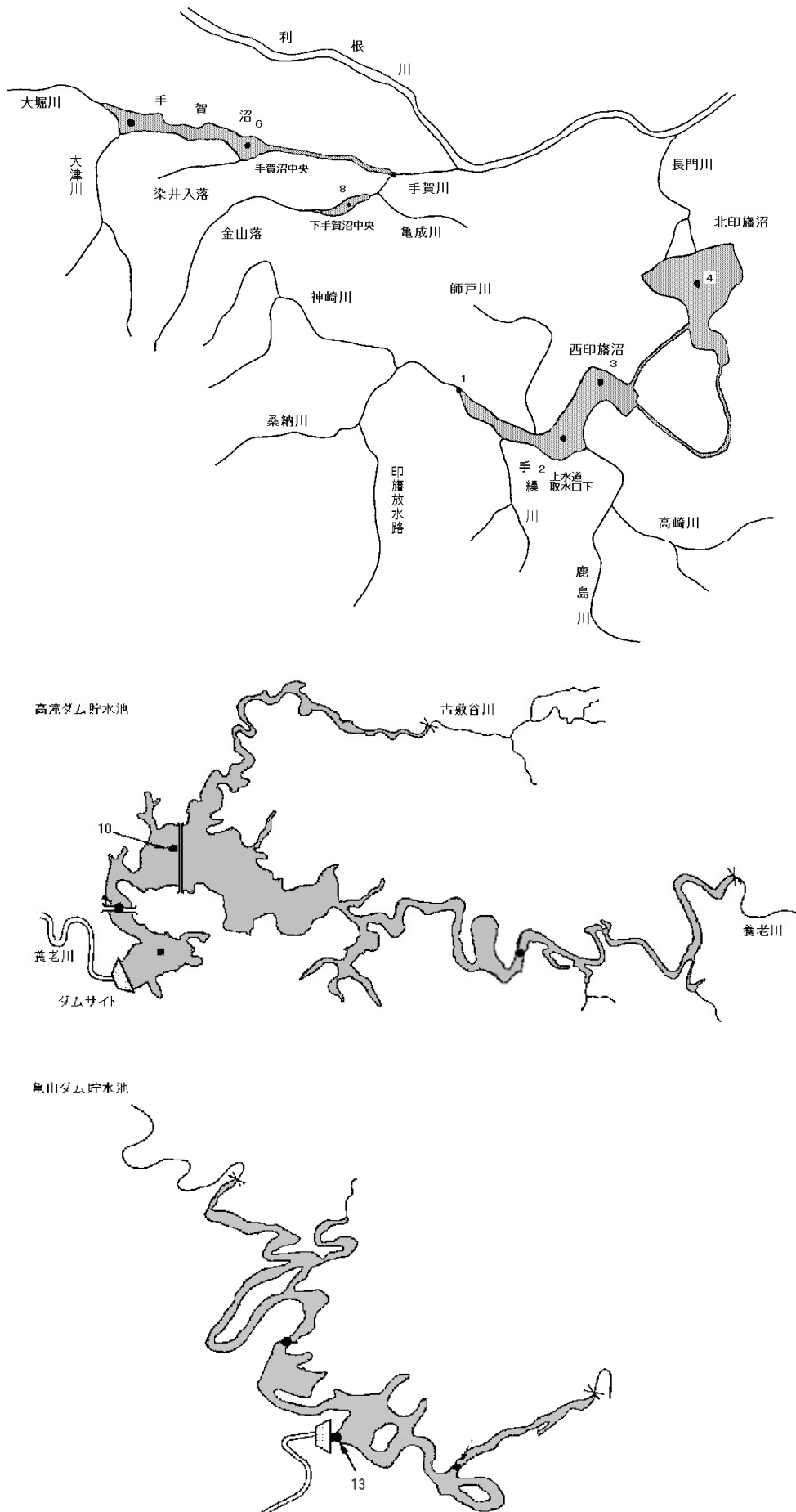
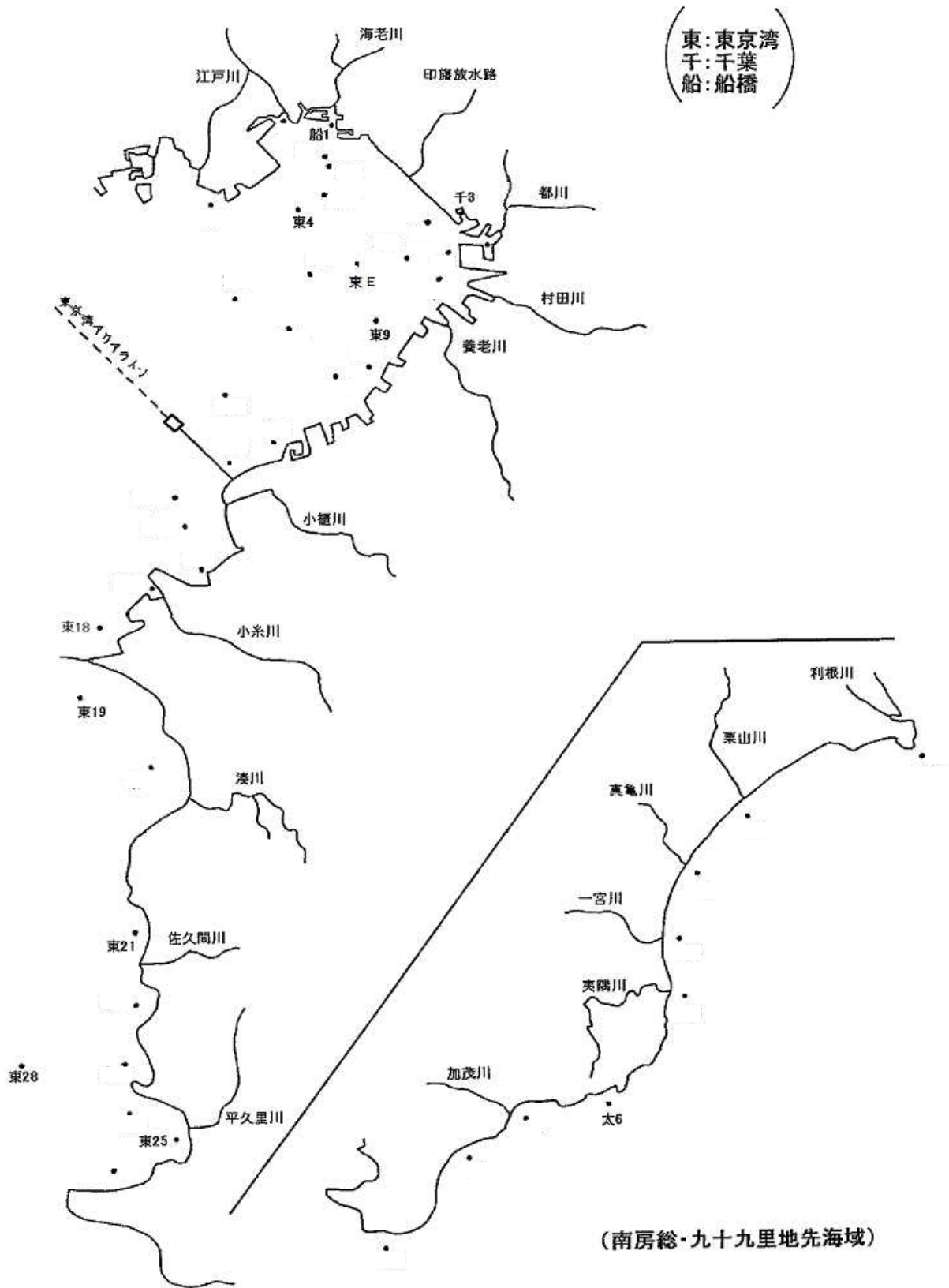


図2-3 平成27年度ダイオキシン類公共用水域測定地点図（海域）



### 3 平成27年度ダイオキシン類に係る地下水測定結果について

#### (1) 測定方法

##### ア. 測定地点及び測定実施機関

県内20地点において、県及び5市（千葉市、船橋市、柏市、松戸市、成田市）がそれぞれ実施しました（図3）。

##### イ. 測定期間

平成27年8月25日～平成27年11月12日（年1回）

##### ウ. 測定分析方法

「工業用水・工業排水中のダイオキシン類の測定方法」（日本工業規格 K 0312）により実施しました。

#### (2) 測定結果

20地点における測定結果は0.0086～0.067pg-TEQ/Lであり、全地点において環境基準（基準値：1 pg-TEQ/L）を達成しました（表3）。

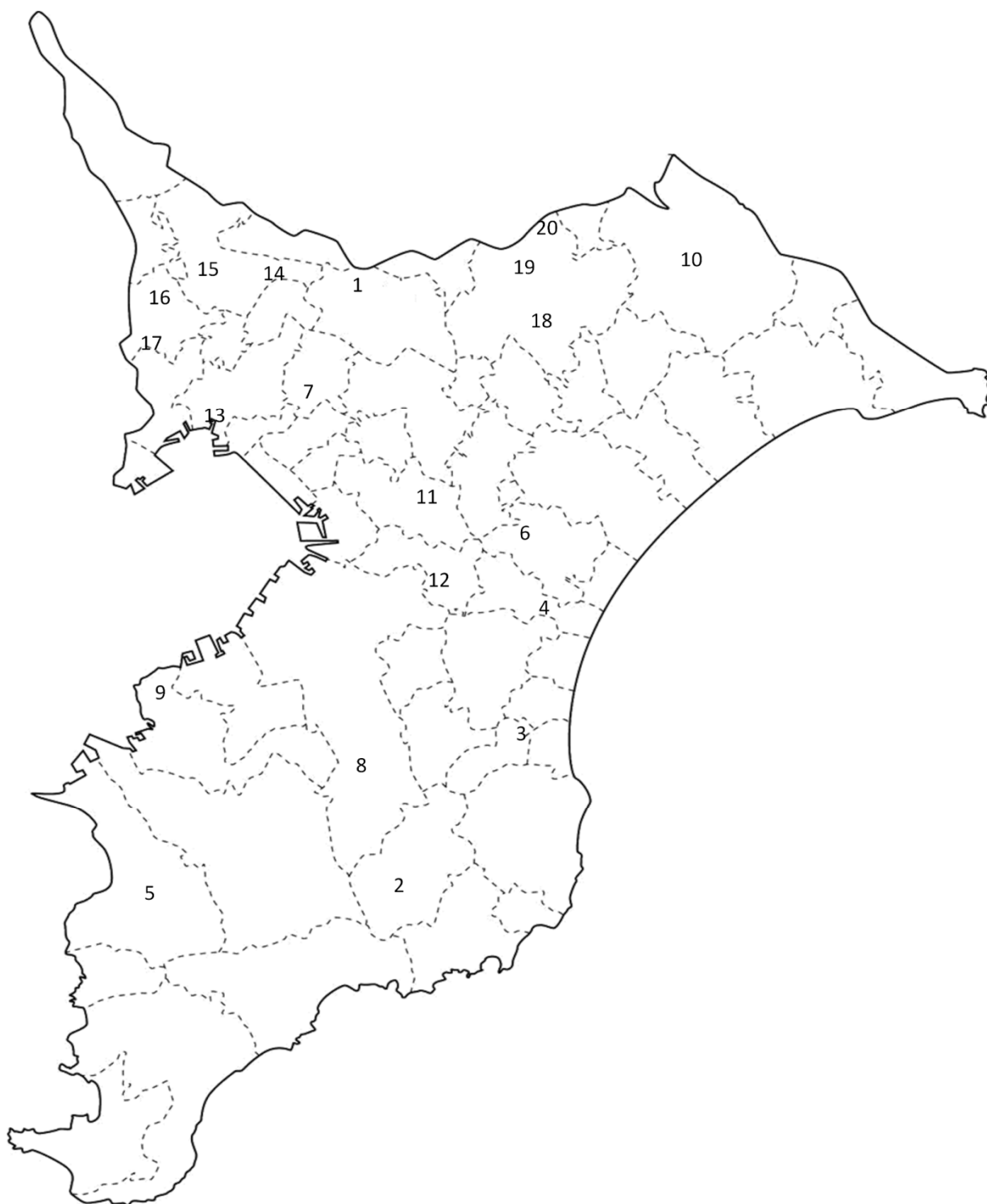
なお、全地点の平均値は0.037pg-TEQ/Lであり、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準値を超過した地点はありません。

表3 平成27年度ダイオキシン類に係る地下水測定結果

単位:pg-TEQ/L(環境基準:1pg-TEQ/L)

地点No.	測定地点	測定結果	測定機関
1	印西市鹿黒	0.0096	千葉県
2	大多喜町粟又	0.019	
3	睦沢町寺崎	0.021	
4	大網白里市北吉田	0.017	
5	富津市山脇	0.017	
6	東金市松之郷	0.017	
7	八千代市大和田新田	0.015	
8	市原市本郷	0.0086	
9	木更津市万石	0.019	
10	香取市九美上	0.017	
11	千葉市若葉区更科町	0.042	千葉市
12	千葉市緑区越智町	0.042	
13	船橋市宮本	0.057	船橋市
14	柏市柳戸	0.057	柏市
15	柏市名戸ヶ谷	0.057	
16	松戸市中和倉	0.067	松戸市
17	松戸市大橋	0.067	
18	成田市堀之内	0.057	成田市
19	成田市磯部	0.066	
20	成田市小浮	0.058	
平均値		0.037	

図3 平成27年度ダイオキシン類地下水測定地点図



## 4 平成27年度ダイオキシン類に係る土壌測定結果について

### (1) 測定方法

#### ア. 測定地点及び測定実施機関

県内37地点において、県及び9市（千葉市、船橋市、柏市、市川市、成田市、旭市、習志野市、八千代市、匝瑳市）がそれぞれ実施しました（図4）。

#### イ. 測定期間

平成27年5月18日～平成27年12月21日（年1回）

#### ウ. 測定分析方法

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」（環境省 平成21年3月改定）に基づき実施しました。

### (2) 測定結果

一般環境把握調査では27地点で測定を行い、その結果は0.11～8.7pg-TEQ/g（平均値：2.3pg-TEQ/g）でした。発生源周辺状況把握調査では10地点で測定を行い、その結果は0.95～26pg-TEQ/g（平均値：9.8pg-TEQ/g）であり、いずれの調査でも環境基準（基準値：1000pg-TEQ/g）を達成しました（表4）。

これら37地点における測定結果は0.11～26pg-TEQ/g（平均値：4.4pg-TEQ/g）であり、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準値を超過した地点はありません。



表4 平成27年度ダイオキシン類に係る土壤測定結果

(1) 一般環境把握調査

単位:pg-TEQ/g(環境基準:1000pg-TEQ/g)

地点No.	測定地点	測定結果	測定機関
1	銚子市陣屋町公園	3.0	千葉県
2	館山市城山公園	7.2	
3	東金市北公園	2.3	
4	市原市御影台公園	2.6	
5	我孫子市手賀沼公園	8.7	
6	四街道市中央公園	0.68	
7	印西市萩原公園	5.8	
8	神崎町立米沢小学校	1.1	
9	芝山町旧東小学校	0.35	
10	一宮町営野球場	2.8	
11	大多喜町B&G海洋センター多目的広場	1.3	
12	若葉区 更科小学校	0.26	千葉市
13	緑区 越智小学校	0.54	
14	船橋市立市場小学校	0.21	船橋市
15	柏市立柏の葉小学校	1.8	柏市
16	柏市立中原小学校	0.94	
17	柏市立手賀西小学校	0.16	
18	信篤小学校	1.2	市川市
19	成田市十余三運動施設	6.7	成田市
20	成田市長沼保育園	0.35	
21	成田市リバティヒル500公園Ⅱ	4.5	
22	中央児童公園	2.3	旭市
23	秋津1号児童公園	1.5	習志野市
24	八千代市立睦中学校	3.4	八千代市
25	八千代市立西高津小学校	2.8	
26	椿海公園	0.11	匝瑳市
27	のさかふれあいスポーツランド	0.43	
平均値		2.3	

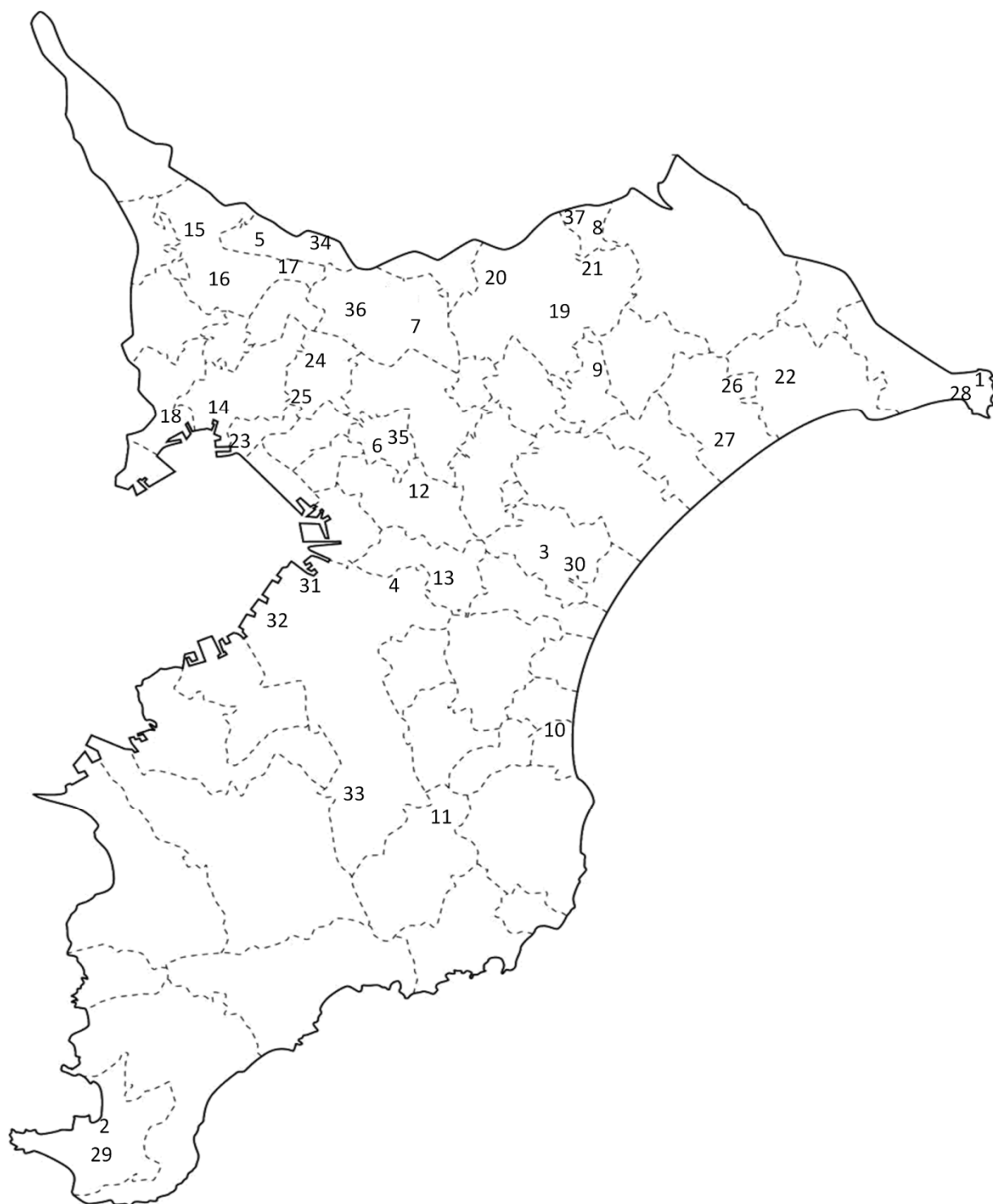
(2) 発生源周辺状況把握調査

単位:pg-TEQ/g(環境基準:1000pg-TEQ/g)

地点No.	測定地点	測定結果	測定機関	
28	銚子市スポーツコミュニティセンター	23	千葉県	
29	館山市出野尾老人福祉センター	5.8		
30	東金市立正気小学校	26		
31	市原市潮見公園	19		
32	市原市立明神小学校	3.8		
33	市原市いちほらクオードの森	2.0		
34	我孫子市民体育館	15		
35	四街道市みそら第8号公園	1.8		
36	印西市戸神台東街区公園	0.95		
37	神崎町成城台コミュニティーセンター	0.97		
平均値		9.8		

全測定値平均	4.4
--------	-----

図4 平成27年度ダイオキシン類土壤測定地点図



[参考]

## 1 ダイオキシン類とは

ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）とポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）、コプラナーPCBを加えた約220種類の有機塩素化合物を総称して、ダイオキシン類といいます。

### (1) 主な発生源

廃棄物の焼却等の過程で非意図的に生成されます。

### (2) 健康への影響

分解しにくい性質を持つことから、生物の体内に蓄積しやすく、発ガン性、催奇形性、免疫機能の低下などの毒性を有するといわれています。

## 2 ダイオキシン類に係る環境基準について

ダイオキシン類対策特別措置法第7条の規定に基づき、ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境上の条件において、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として環境基準が定められています。

媒体	基準値
大気	0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
水質（水底の底質を除く。）	1 pg-TEQ/L以下
水底の底質	150 pg-TEQ/g以下
土壌	1000 pg-TEQ/g以下

\*大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。

## 3 pg（ピコグラム）とは

1兆分の1グラムを表す単位です。

例えば、1 pg-TEQ/m<sup>3</sup>は、大気1立方メートルあたり毒性等量に換算して1兆分の1グラムのダイオキシン類が含まれていることを表しています。

#### 4 T E Q（毒性等量）とは

Toxic Equivalent Quantity の略。

ダイオキシン類は、各異性体によって毒性が異なるため、最も毒性の強い 2.3.7.8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算して表したものです。

#### 5 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視結果の公表

本調査は、平成12年度からダイオキシン類対策特別措置法に基づき実施しています。

ダイオキシン類対策特別措置法では、知事が県の区域におけるダイオキシン類による汚染の状況を常時監視し、結果を公表するとされていますが、同法施行令で定める市については、市長が当該事務を行うとされています。

今回の公表は、県、国土交通省及び県内自治体が測定したものを取りまとめ、県全体の状況として公表するものです。